

# エコノミクス甲子園出場

秀峰中等教育学校 大房慧士君・岡野伊吹君



県代表として全国大会に出場する大房君(左)と岡野君

金融・経済の知識を問う 県で優勝 日本一を目指す

松本秀峰中等教育学校4年生の大房慧士君(16)と岡野伊吹君(15)が、14日にオンラインで開催される「エコノミクス甲子園全国大会」に出場する。高校生年代のチームが金融・経済に関する難問に挑む大会で、2人は県大会を制し初出場を決めた。地方大会を勝ち抜いた全国の強豪チームと戦い、日本一を目指す。

全国大会には32チームが出場する。開成やラ・サールなど名門校が名を連ね、トーナメント方式で優勝を決める。

大房君と岡野君は米国の数学者の名前にちなんで「ジョン・ナッシュ」とチーム名を付けた。同じクラスで得意な数学と経済の難問を解き合うなど共に勉強に励んでおり、社会科担当の松山俊治郎教師は「興味関心が高く、積極的に学ぶ姿が、この成果を全国でも発揮してほしい」と期待する。

県大会には約20チームが参加した。金融経済の複利計算や仮想通貨、時事問題など幅広い分野が出題され、満点180点中135点を獲得して2位の松本深志高校に11点差を付けた。大会用の教材を分担して覚え、個々の得意分野も生かして解答し、間違っても引きすぎらないことが勝因になったという。

大房君は「金融経済学は日常生活に応用できるので勉強が楽しく、論理的に解く過程が好き」と話す。岡野君は子供のころから祖父に経済学の本を与えられて親しんできたといい「新しい知識をさらに増やし、本番では持てる力を出し切りたい」と話している。

(田中千絵)